

第 1 回 館山市議会定例会会議録

(第 5 号)

1 平成3年3月22日（金曜日）午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1 番 脇田 安保
3 番 田沢 勝信
5 番 岩村 勝弘
7 番 生稲 陞
9 番 山口 康雄
11 番 神田 守隆
13 番 山中金治郎
15 番 横溝 功
17 番 石井 謀
19 番 川名 正二
22 番 黒川 平治
25 番 渡辺 昭夫
27 番 林 豊

2 番 永井 龍平
4 番 庄司二三男
6 番 山崎 雅己
8 番 鈴木 勝美
10 番 鈴木 忠夫
12 番 榎本 春光
14 番 小宮 利夫
16 番 石井 昌治
18 番 日下 君敏
20 番 福原 勤
23 番 流山源次郎
26 番 近藤 好雄
28 番 飯田 義男

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長 庄司 厚
収 入 役 渡辺 弘
総 務 部 長 二通 英雄
経 済 部 長 安西 良一
教 育 委 員 会 長 山田 教和
選 挙 管 理 委 員 会 長 加藤 利
監 査 委 員 鈴木 重司
農 業 委 員 会 長 岩城 昭
事 務 局 長

助 役 小幡 清之
市長公室長 錦織 茂
民 生 部 長 佐藤 澄雄
水 道 課 長 鈴木 信一
教 育 委 員 会 長 福原 修
選 挙 管 理 委 員 会 長 庄司 徹
事 務 局 書 記 長
監 査 事 務 局 長 熊坂 桂一

1 出席事務局職員

事務局長 川上 義雄

事務局長補佐 兵藤 恭一

書記 鈴木 哲

書記 鈴木 修一

書記 加藤 浩一

1 議事日程（第5号）

平成3年3月22日午前10時開議

- | | | | |
|------|---|--------|--|
| 日程第1 | { | 議案第 9号 | 館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第10号 | 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第11号 | 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第12号 | 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第13号 | 館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第14号 | 財産の無償譲渡について |
| 日程第2 | { | 議案第20号 | 平成2年度館山市一般会計補正予算（第5号） |
| | | 議案第15号 | 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第16号 | 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第17号 | 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について |
| | | 議案第21号 | 平成2年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） |
| | | 議案第22号 | 平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号） |
| | { | 議案第18号 | 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の |

日程第3 } 一部を改正する条例の制定について
議案第19号 市道路線の認定、廃止及び変更について

日程第4 継続審査について

日程第5 } 議案第1号 平成3年度館山市一般会計予算
議案第2号 平成3年度館山市国民健康保険特別会計予算
議案第3号 平成3年度館山市老人保健特別会計予算
議案第4号 平成3年度館山市ユースホテル特別会計予算
議案第5号 平成3年度館山市学童災害共済事業特別会計予算
議案第6号 平成3年度館山市水道事業特別会計予算
議案第7号 平成3年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

日程第6 議案第23号 館山市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について

開 議 午前10時16分

◎議長（渡辺昭夫君） 本日の出席議員数26名、これより第1回市議会定例会第5日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長（渡辺昭夫君） 議案を配付いたさせます。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第1、議案第9号乃至議案第14号及び議案第20号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました各議案は、3月11日の本

会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長榎本春光君。御登壇願います。

(総務委員会委員長榎本春光君登壇)

◎総務委員会委員長(榎本春光君) ただいま議題となりました議案第9号乃至議案第14号及び議案第20号にかかわる総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る11日の本会議において、本委員会に付託されました各議案につきまして、13日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、委員会における質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第9号館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定についてであります。経済部を分割し、経済部と建設部に組織を変更することについては、従前から要望してきたことであるので、積極的に進められたいとの意見がありました。

次に、議案第10号乃至議案第12号の非常勤特別職、市三役、教育長の報酬、給与等の改正についてであります。特別職報酬等審議会の審議の内容について説明を求めました。

次に、議案第14号財産の無償譲渡についてであります。青年館の利用状況等について説明を求めましたところ、青少年の健全育成を目的として、県の補助を受けて設置してきたもので、青少年関係事業の利用は約31%で、その他は町内会での利用がされている。県の補助制度が廃止されたこともあり、20年を経過したものから地元に譲渡し、コミュニティ集会施設として多面的な利用をしていただく考えであるとの説明がありました。

さらに、状況によっては譲渡時期を早めることはできないかとの指摘に対し、県の補助金交付規則の上で20年と拘束されているので、それ以前の譲渡は難しい。譲渡しても今後多少の修繕についてはコミュニティ事業補助金の中で補助していくとの考えが示されました。

次に、平成2年度館山市一般会計補正予算(第5号)であります。まず

今回繰越明許費の設定がなされておりますが、その理由等について詳細に説明を求めました。

次に、道路整備事業等について、地方債の補正がされており、そのうち5件については一般財源へ振りかえたことによる起債額の減であるとの説明がされておりますが、起債に対する市の基本的考え方について説明を求めましたところ、昭和61年度に起債制限比率が17％になり、その後財政運営の基本として起債を制限することにより、財政の弾力化を図ろうということで進めてきている。後年度に交付税措置があるもの、将来割り落としの制度があるものもあり、市の利益になり得るものだけに抑えた。将来の大きな事業があったときに起債を借り得る体制をつくろうということで進めているとの説明がありました。

次に、土木費中館山駅周辺整備事業に関する減額補正がされていますが、減額の理由、またそれぞれの事業の進捗状況について、詳細に説明を求めました。

なお、西口地区土地区画整理事業について昨年換地設計の供覧を行い、その後10件の要望書が提出されているとのことであるが、その取り扱いについては現在賛成している人への波及効果も心配されるので、だれもが納得できるような慎重な対応をされるよう要望いたしました。

採決の結果、付託を受けました議案第9号乃至議案第14号及び議案第20号につきましては全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、御報告申し上げ、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第9号館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

次いで、議案第10号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第11号館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について及び議案第12号館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、一括して起立により採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（渡辺昭夫君） 起立多数であります。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

次いで、議案第13号館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第14号財産の無償譲渡について及び議案第20号平成2年度館山市一般会計補正予算（第5号）について一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第2、議案第15号乃至議案第17号、議案第21号及び議案第22号の各議案を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました各議案は3月11日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長岩村勝弘君。御登壇願います。

（文教民生委員会委員長岩村勝弘君登壇）

◎文教民生委員会委員長（岩村勝弘君） ただいま議題となりました議案第15号乃至議案第17号、議案第21号及び議案第22号にかかわる文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る11日の本会議において、本委員会に付託されました各議案につきまして、13日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、委員会における質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第15号館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。地区公民館書記を専任化した効果について説明を求めましたところ、年度途中であるので具体的な数字は出ていないが、週に3日開館して利用しやすくなったという評価を受けており、また利用度も高まったと聞いているとの説明がありました。

関連して幼稚園児数の減少傾向と30人学級について、また館山幼稚園跡地利用についての質疑がありました。

次に、議案第17号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてであります。昨今消防団員の確保が困難になってきているところから、団

員数の推移について説明を求めるとともに、支障は生じていないか質疑しましたところ、定員は 440 名で最近 5 カ年間の団員数は 420 名前後で推移しており、統合等により減少に対応したりしている。また、消防力の基準から見て、おおむね団員数は満たしているのも特に支障があるとは思っていないとの説明がありました。

さらに、団員に対する待遇について説明を求めましたところ、報酬については 28 市平均からは大体 20 % 程度上回っているが、安房郡内の町村と比較すると少し下回っている。類似団体との比較では妥当な線にあるのではないかと。また、最低限消防活動に必要なものについては、市で支給しているとの説明がありました。

次に、議案第 21 号平成 2 年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）であります。国保税について所得水準が上がれば税も上がることになるが、市では税率をそのままにしておくことが据え置きだと考えているのかとの質疑に対し、一般的に所得割、資産割の率、均等割、平等割の額がそのままであれば据え置きというふうと考えているとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第 15 号乃至議案第 17 号、議案第 21 号及び議案第 22 号の各議案につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、御報告申し上げ、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

議案第15号館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第16号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第17号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について、議案第21号平成2年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）、議案第22号平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）について一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、各議案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第3、議案第18号及び議案第19号の各議案を一括して議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました各議案は、3月11日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長山口康雄君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長山口康雄君登壇）

◎建設経済委員会委員長（山口康雄君） ただいま議題となりました議案第18号及び議案第19号にかかる建設経済委員会における審査の経過並びに結果

について御報告申し上げます。

去る11日の本会議において、本委員会に付託されました議案2件につきまして、14日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。

以下、委員会における質疑応答等、主なものについて申し上げます。

まず、議案第18号館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてであります。今回の改正は入居者の収入基準の緩和、また割増賃料の基準の緩和等がされているとの説明がありました。

なお、入居者の収入の把握に当たっては十分調査され、的確に算定されるよう要望いたしました。

次に、市営住宅への入居応募状況について説明を求めましたところ、昭和57年度当時は2.3倍から2.7倍という倍率であったが、元年度、2年度は1.7倍と下がってきており、ここ1～2年住宅の困窮度が下がってきているのではないかという感じを持っているとの説明がありました。

次に、現在の市営住宅の戸数については第1種が30戸、第2種が284戸であるとの説明がありましたが、さらに今後の増改築計画について質問しましたところ、大賀の市営住宅61戸が老朽化しているので、まず平成3年度に真倉の市営住宅の南側に18戸建設し、その後入居者の自然減等も含めて状況を見ながら4～5年先に高層の市営住宅を建設する計画を持っているとの考えが示されました。

次に、議案第19号市道路線の認定、廃止及び変更についてであります。まず今回認定、廃止及び変更を行う理由等についてそれぞれ路線ごとに詳細に説明を求めました。

次に、市道の舗装率の現況と今後の市道舗装に対する考え方について説明を求めましたところ、来年度からの舗装計画を考える上で調査したが、現在の舗装率は93.44%で、未舗装の道路は2万580メートルとなっており、これを96%程度にもっていけば住民の納得が得られるのではないかと考えているとの説明がありました。

次に、今回廃止、変更した路線について地元の対応はどうであったかとの質問に対し、地元とのトラブルはなかったとの説明がありました。

次に、関連して、道路交通事情等から側溝のふたの設置について要望しましたところ、パトロールを行い、優先順位を決めて予算の範囲内で積極的に対応しているが、設置に当たって、中には改良が必要などところもあるとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第18号及び議案第19号につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、御報告申し上げ、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。
— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

議案第18号館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第19号市道路線の認定、廃止及び変更について一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

継続審査について

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第4、継続審査についてお諮りいたします。

建設経済委員会に付託中の請願第28号リゾートマンション建設の規制強化に関する意見書提出を求める請願書並びに総務委員会に付託中の請願第32号朝鮮民主主義人民共和国との早期国交樹立促進方要望に関する請願書については、各委員長から慎重審査の必要上、会議規則第104条の規定により、閉会中の継続審査とされたいとの申し出がありました。

お諮りいたします。請願第28号並びに請願第32号を各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、請願第28号並びに請願第32号は閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長（渡辺昭夫君） なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第5、議案第1号乃至議案第7号平成3年度一般会計及び各特別会計予算を一括して議題といたします。

予算審査特別委員会委員長報告

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました各会計予算は、3月12日の本会議において特別委員会を設置し、付託されたものであります。

よって、これより本予算に対する予算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき、委員長の報告を求めます。

予算審査特別委員会委員長石井 謀君。御登壇願います。

(予算審査特別委員会委員長石井 謀君登壇)

◎予算審査特別委員会委員長(石井 謀君) ただいま議題となりました議案第1号乃至議案第7号平成3年度館山市一般会計予算並びに特別会計予算にかかわる予算審査特別委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告を申し上げます。

去る12日の本会議におきまして設置されました本委員会を、18日招集し、各会計における予算につき慎重に審査をいたしました。

以下、委員会におきます質疑応答等整理いたしまして、その概要を御報告申し上げます。

まず、一般会計歳出であります。第2款総務費において、安房郡市広域市町村圏事務組合総務費負担金が計上されておりますが、構成市町村の人口も変化してきていることから、広域圏事務組合の負担金の案分方法について各事業ごとに説明を求めました。

なお、委員より設立当時の状況を考えると、安房の中核都市である本市の市長が理事長となっていくことがふさわしいのではないかと意見がありました。

次に、交通安全対策について質疑がありました。まず、道路反射鏡の整備については、来年度10基の設置、鏡の取りかえを50基予定しているとの説明がありました。さらに、街灯はどのように設置されているか質問しましたところ、道路照明については夜間において交通量が多く、事故の発生するおそれのある場所に年に2基設置しており、防犯灯については防犯協力会が主体となり、地域の意見を聞いて設置しているとの説明がありましたが、関連して、最近夜遅くまで塾に通っている子供が多くなっているので、市において実態を十分調査され、防犯灯の設置など、積極的に検討していくべきではないかと意見がありました。

また、交通指導員について、地区によっては指導員の確保が困難な地域があったり、また指導員の高齢化が進んでいる状況もあるので、市においても十分検討されるよう要望いたしました。

次に、第3款民生費中社会福祉費及び老人福祉費における臨時職員賃金に

ついて説明を求めましたところ、それぞれ身障家庭奉仕員と老人家庭奉仕員にかかわる臨時職員賃金であるとの説明がありましたが、さらに市の臨時職員の待遇について説明を求めましたところ、額そのものは一般職員と比較して差はあるが、公務災害等の補償については一般職と同じ対応をしているとの説明がありました。

なお、最近ヘルパーが介護士の資格を取って、業務の充実を図っていくという傾向もあるようなので、身分的にも賃金の面からもきちんとした扱いを検討されるべきではないかとの指摘がありました。

次に、老人福祉費において館山市高齢者働く会補助金が計上されていますが、この仕事の内容等について説明を求めましたところ、現在の会員は20名で仕事は草取りなど10件程度来ている。雇用対策ではないので、あくまでも会員に適したものの、危険の少ないものを選びながら始めようということで、近いうちに役員会を開き、具体的な内容について検討していくとの説明がありました。

次に、第4款衛生費中南房総広域水道企業団出資金が計上されておりますが、本水道企業団への市民の関心は高く、特に未給水地域の解消の面からこれまでたび重なる質疑がされておりますが、本委員会においても未給水地域の通水時期について質疑がありました。

なお、本水道企業団においては平成7年度通水を目標に、既に配管計画等具体的な計画を進めているとのことであり、生活に水は絶対的に欠かすことのできないものであるので、関係市町村長と連携をとって、積極的に事業を進めていくとの考えが示されました。

次に、第5款労働費であります。勤労者団体補助金が計上され、これについては勤労者の健全な組合活動を推進し、勤労者の福祉向上、文化活動の向上を図るために毎年度支出しているとの説明がありました。

なお、支出先は地区労の解散に伴い、関係者と協議した結果、地区労センターを窓口に出支していくとの説明がありました。

次に、第6款農林水産業費中水産業振興費において漁業協同組合合併促進事業補助金が計上されておりますが、本事業は平成2年度から行っている事

業で、県から1市1組合との指導がある中で、先般役員会を開催し、会長等選任している。まだいろいろ問題点はあるが、合併の促進を図っていききたいとの説明がありました。

なお、県においては市場についてもできれば統合、一本化したい考えのようであるが、関係者からはまだそのような話は聞いていないとの説明がありました。

次に、第7款商工費であります。観光費に関連して水質的にいいところがあれば新たに海水浴場として開設できないか要望しましたところ、現在13カ所程度を開設しているが、近年特に監視員の確保が困難な状況にあり、新たに開設することは安全基準の面で問題があるのではないかと説明がありました。

次に、第8款土木費中ウエルネスリゾートパーク用地購入費が計上されておりますが、ウエルネスリゾートパーク構想の概要については、運動公園周辺の約160ヘクタールに健康、スポーツ、文化的施設、娯楽施設、合宿、研修施設を計画し、整備の主体は公共、第三セクター、民間を考えているとの説明がありました。

なお、平成3年度、4年度において用地の先行取得を千葉県地方土地開発公社に委託して行うために、今回6億8,200万円の債務負担行為を設定してあるとの説明がありましたが、委員より、この用地の先行取得は民間業者に土地を提供することにならないか、また、計画の概要が明らかにされていないのではないかと指摘があり、資料の提出を求めましたところ、お手元に配付のウエルネスリゾートパーク調査報告書の概要書が提出されました。参考に配付いたしました。

次に、第10款教育費であります。神余小学校の校舎改修工事請負費が計上されておりますが、校舎が老朽化していることから統合問題を含めて、改修をどのような考えで行うのか、説明を求めましたところ、本予算については窓枠をアルミサッシにかえるためのものであり、神余小学校は生徒数の減少による複式学級や校庭が狭いなどの問題から十分な教育が行えないので、できるだけ早く統合をしなければならないと考えており、現在の教育に必要

なものは整備していかなければならないが、全般的な改築は行わない予定であるとの考えが示されました。

次に、一般会計歳入中市税における各税目ごとの徴収率、徴収方法について質疑があり、平成元年度実績においては納税組合 170 組合により収納されたものは全体の 30.38%、口座振りかえによるものは各税目ごとの平均で 20.3% になっており、納税組合から口座振りかえに移行しつつあるとの説明がありました。

次に、温水プール使用料に関連して温水プールは老朽化してきたし、ごみ焼却場の移転により、余熱利用もできないことからごみ焼却場の方に新設する計画について伺いましたところ、現在温水プールを建設する計画は持っていないとの回答がありました。

次に、国民健康保険特別会計であります。保険税は高いとの市民の声が強いが、他の社会保険における保険税との比較について説明を求めましたところ、制度上異なる点があって一概に比較することは難しいが、年収 500 万円で家族 4 人の標準世帯の保険税は国保の場合は 32 万 8,800 円、政府管掌保険では 17 万 1,000 円、市町村共済では 22 万円であるとの説明がありました。

さらに、一般会計からの繰り入れについては、従前の方針に基づいて実施していくのか、繰り入れを拡大するため新しいルールを設定できないか考えをただしましたところ、本市の国保税は県下の市の中では 11 番目にある。税率を上げないことで努力してきており、当分このままの状況で進めていきたいとの説明がありました。

次に、水道事業特別会計であります。館野、九重地域では一日も早い給水を望んでいるが、市の水道拡張計画の認可はいつごろを考えているか。また、加入者への説明はどの程度進んでいるか説明を求めましたところ、既に県とも協議しており、目途として平成 3 年度の早い時期に認可を得たい。加入者への説明は九重の水道促進協議会に対しては 2 月中に終わったが、個々の問題もあるので、各地区に入って説明してもらいたいとの要望があり、5 月から 6 月ごろまでに各地区に入って細かい問題等について意見を聞きたいとの説明がありました。

なお、広域水道企業団の発足に伴い、この際市水道と三芳水道企業団との統合を推進すべきではないか。市の考えをたざしましたところ、3市町村にかかわる問題であるし、過去の経過等もあるが広域水道整備を契機として一元化に向けて進みたいとの考えを持っている。現在は拡張事業の認可を受けべく進めているところであって、作業的に困難であり、未給水地域を解消した後、早い時期に合併した方がいいのではないかという県の指導もあり、その方向で努力したいとの考えが示されました。

以上が質疑応答の主な事項であります。

次に、討論において、一般会計予算におけるウエルネスリゾートパーク用地取得事業にかかわる6億8,200万円の債務負担行為については先行取得する土地の利用のあり方等、十分納得する説明がないし、リゾート開発について企業に土地の提供をしないことを原則とする方針に反する内容となる心配があるので、一般会計予算には反対するとの意見がありました。

また、庄司市長初めての予算編成で、前年度に対し11.7%の伸び率を示した積極的予算編成に敬意を表する。地域振興については計画を進める中で慎重を期されたい。7億円に近い債務負担行為については、やや説明不足の点もあるが、全般的には評価できる予算内容と認められる。本委員会での指摘事項、要請等については今後十分考慮し、予算執行に当たられるよう要望して賛成するとの意見がありました。

採決の結果、議案第1号一般会計予算については賛成多数をもって、議案第2号乃至議案第7号の各特別会計予算については全員一致をもっていずれも原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、予算審査特別委員会における審査の概要を御報告申し上げまして、委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

◎11番（神田守隆君） 議案の第1号平成3年度館山市一般会計予算及び議案第2号平成3年度館山市国民健康保険特別会計予算にそれぞれ反対の討論をいたします。

庄司市長にとって初めての予算であり、この予算は選挙の中で市民に対し公約したことをどう実行に移すのかということが問われておりました。市政がどう変わるのか、市民の期待も大変に大きなものがありました。最初の予算であり、直ちに大きな変化は望めないとしても、市政の中にこれまでと違う何かを多くの市民が期待していたのであります。

市長は、市長選のさなかで後援会誌でリゾート開発について現在の開発計画を中央企業のもうけ本位と批判し、雇用や自然環境保全などに配慮し、地元の振興につながるよう計画の見直しを主張されました。しかし、施政方針の中では開発の見直しは欠落し、それに変わって計画の促進に置きかえられました。この点についての私の質問に対しても、現在の民間リゾート計画は地域にもたらす経済効果が大きいと見直しをする気の全くないことを示しました。これは公約違反であります。リゾート開発をめぐる問題は館山市の将来にかかわる重要な問題であり、市民に約束をした計画の見直しの立場に立たれるよう強く求めます。

市長の後援会誌の中では、バス料金を割引くとかお年寄りへのいたわりを強調されておりました。私はバスは無理としても、市の各種施設の割引き制度を提案したところであります。一昨日の新聞報道によりますと、総務庁の行政苦情救済推進会議では、国の施設について高齢者減免措置をとるよう各省庁に求めることを決めたということであります。市としても各種施設の高齢者割引き制度を急いで具体化されるよう求めます。また、老人世帯へ

の給食サービスやデイケアセンターの設置など、お年寄りのいたわりを現実化する老人福祉施策の充実を一刻も早く実施されるよう求めるところであります。

新年度予算は固定資産税評価替えに伴う増税予算となっております。評価替えに連動し、固定資産税はもちろん、都市計画税、国民健康保険税、保育園保育料など、各種の税や料金にまで影響し、負担増となってまいります。しかも、所得や収入の増には関係なくふえるのであります。評価替えは大変過酷な増税だと思います。その一方で、市は大企業には1億2,000万円もの固定資産税の減税を実施しております。市民への減税をこそ実施すべきではないでしょうか。少なくとも評価替えの結果、市民には増税にならないよう都市計画税の税率を引き下げるよう主張いたします。

なお、くみ取り料金や保育料など公共料金について値上げを計上しなかったことは、今年度の予算で評価し、支持いたします。

次に、国民健康保険会計についてであります。既に国保税は負担の限界を超えております。税率をここ3年間据え置いてきたとはいえ、市民の負担増は続いておりました。もう一步踏み込んで税率の引き下げに踏み出すよう強く主張いたします。新年度予算では一般会計から2,400万円が繰り入れられておりますが、さらに総務費から国の事務費負担金を差し引いた2,600万円を繰り入れるよう主張いたします。事務費は加入者の保険税で負担する費用とすべきではないからであります。この繰り入れを実施し、国保税の引き下げをされるよう強く求めまして、私の反対討論といたします。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で神田守隆君の討論を終わります。

以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論はありますか。

日下君敏君。

（18番議員日下君敏君登壇）

◎18番（日下君敏君） 私は議案第1号平成3年度館山市一般会計予算乃至議案第7号平成3年度館山市国民宿舎事業特別会計予算につきまして賛成討論をいたすものでございます。

本年度の館山市の一般会計予算 128億余円、前年対比で11.7%増という、この積極的な予算につきまして、まず賛成をいたすものでございます。庄司新市長は市行政への取り組む姿勢としてかような積極的な予算を組んだものと、まず評価いたすところでございます。これが第1点。

第2点目が施策が均衡をとれておるということの中で、その中で海洋性リゾートタウンの建設という大きな柱を一つ立てたというような点につきまして、施策の重点配分と申しますか、そういった面に意を用いておるということで、これも賛成する第2点でございます。

第3点目が平成3年度は行政組織を、経済部を分割いたしまして、経済部並びに建設部、さらにはスポーツ課の新設ということの行政改革を行ったわけでございますが、このことは多様化する、多面化する市行政に対応する現実的な態度を示したものとして賛成をいたすものであります。

以上、3点から賛成いたすわけでございますが、この際申し上げておきたいことは、国民健康保険税が実質的な値上げになっておるのではないか。第2点目がウェルネスリゾートパークについて、議会に対する一部説明不足があったのではなからうか。3点目といたしまして、リゾート計画に対する見直しについてお考えをいただきたい。以上、3点はこの際御指摘いたしておくところでございます。

この平成3年度予算の執行に当たりましては、十分議会の意見を考慮をいたしまして慎重に執行いたしていただくと同時に西口、東口の問題、道路行政の問題、リゾート法の問題等々の各施策につきましては、弾力的な立場に立って事に当たりますことを要請し、市民の要望に応じていただくことをお願い申し上げまして、賛成討論にかえます。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で日下君敏君の討論を終わります。

他にありませんか。―― 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第1号平成3年度館山市一般会計予算について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(渡辺昭夫君) 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

次いで、議案第2号平成3年度館山市国民健康保険特別会計予算について起立により採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

◎議長(渡辺昭夫君) 起立多数であります。よって、本案は原案どおり可決されました。

次いで、議案第3号平成3年度館山市老人保健特別会計予算、議案第4号平成3年度館山市ユースホステル特別会計予算、議案第5号平成3年度館山市学童災害共済事業特別会計予算、議案第6号平成3年度館山市水道事業特別会計予算及び議案第7号平成3年度館山市国民宿舎事業特別会計予算について一括して採決いたします。

各議案についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(渡辺昭夫君) 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(渡辺昭夫君) 日程第6、議案第23号館山市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

議案の内容説明

◎議長（渡辺昭夫君） 議案の説明を求めます。

市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 本日急遽提案いたします議案第23号館山市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について、提案理由を御説明申し上げます。

これは、さきに提案いたしました行政組織の変更と同時に、現在の課名についてもその変更を検討いたしました結果、「社会開発課」を「社会安全対策課」に改めようとするものでございます。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

以上でございます。

◎議長（渡辺昭夫君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

日程の追加

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま発議案第1号館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定についてが提出されました。

この際、本議案を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本議案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 発議案第1号館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

議案を配付いたさせます。

（議案配付）

◎議長（渡辺昭夫君） 議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（渡辺昭夫君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（渡辺昭夫君） 提出者の説明を求めます。

石井 謀君。御登壇願います。

（17番議員石井 謀君登壇）

◎17番（石井 謀君） ただいま議題となりました発議案第1号館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について、提案理由の御説明を申し上げます。

先ほど館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定についてが可決され、新たな行政組織として建設部が設置されたことに伴い、館山市議会委員会条例中建設経済委員会の所管事項として「建設部の所管に属する事項」を加えようとするものであります。

満場の御賛同を賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明いたします。

◎議長（渡辺昭夫君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

閉 会 午前 11 時 22 分

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第 1 回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第 1 号乃至議案第 7 号、議案第 9 号乃至議案第 23 号
- 1 継続審査について（請願第 28 号、請願第 32 号）
- 1 日程追加・発議案第 1 号

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会副議長

館山市議会議員

館山市議会議員